

ALL LINER® NEWS



ALL LINER® ASSOCIATION

2026.1.24 Vol.53(冬号)



CONTENTS

第31回定時総会を開催しました	2 ページ
会長挨拶	3
令和7年度上期事業のご報告	3～6
トピックス	
●安全で効率的な調査を目指して	7
技術情報	
●ゴルフ場内雨水管の施工	7～9
●オールライナーHM工法について	9～10
支部だより	11～14
会員名簿	15～16



(上) 朝霧高原（静岡県富士宮市）から望む冬の富士山。澄んだ空気と雪化粧が相まって、凛とした姿を楽しむことができます（写真提供：静岡県観光協会）
(下) 三重県鈴鹿市で開催された下水道管路管理技術施工展

役員名簿

任期：令和6年6月から令和8年6月

協会役職	氏名	会社名および所在地・連絡先
会長	石黒望	豊興産株式会社 〒010-1633 秋田市新屋島木町1-82-2 TEL 018-828-4611 FAX 018-828-3373
副会長 関東支部長 総務委員長	阿部欣文	宇都宮文化センター株式会社 〒321-0102 栃木県宇都宮市江曾島町2070 TEL 028-633-6171 FAX 028-632-8415
副会長 中国・四国 支部長	栗本貴志	株式会社環境開発公社 〒733-0035 広島市西区南観音6-12-21 TEL 082-232-7106 FAX 082-232-7616
理事 東北・北海道 支部長	石黒慎	豊興産株式会社 〒010-1633 秋田市新屋島木町1-82-2 TEL 018-828-4611 FAX 018-828-3373
理事 中部支部長 技術委員長	松本正一	東海下水道整備株式会社 〒430-0814 浜松市南区恩地町559-19 TEL 053-426-0111 FAX 053-426-0211
理事 関西支部長 広報委員長	北浦慎也	株式会社ケンセイ 〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-18-22 TEL 06-6323-6781 FAX 06-6320-3594
理事 九州支部長	永野太	環境開発興業株式会社 〒807-0815 北九州市八幡西区本城東3-1-23 TEL 093-602-2500 FAX 093-601-0633
常任理事	高田淳	管清工業株式会社 〒158-0098 東京都世田谷区上用賀1-7-3 TEL 03-3709-5151 FAX 03-3709-4338
常任理事	石塚満	アクアインテック株式会社 〒439-0022 静岡県菊川市東横地3311-1 TEL 0537-35-0312 FAX 0537-35-0313
会計監事	伊藤敦	株式会社コイデ 〒371-0804 群馬県前橋市六供町776-1 TEL 027-212-7100 FAX 027-212-7101
会計監事	田端浩之	株式会社東海維持管理工業 〒460-0011 名古屋市中区大須4-7-3 TEL 052-684-6271 FAX 052-684-6277
顧問	永野刀男	環境開発興業株式会社 〒807-0815 北九州市八幡西区本城東3-1-23 TEL 093-602-2500 FAX 093-601-0633
顧問	小林友則	株式会社環境開発公社 〒733-0035 広島市西区南観音6-12-21 TEL 082-232-7106 FAX 082-232-7616
顧問	久保田敏嗣	日立テクノス株式会社 〒440-0095 愛知県豊橋市清須町字兵庫85-1 TEL 0532-32-1511 FAX 0532-32-5359
本部事務局	〒439-0022 静岡県菊川市東横地3311-1 アクアインテック(株)内 E-mail: honbu@all-liner.jp TEL 0537-29-7613 FAX 0537-29-7614	

第31回定時総会を開催しました

1. 開催日時
令和7年5月29日(木)
15:00～16:50
2. 開催場所
神戸市中央区「ANAクラウン
プラザホテル神戸」
3. 総会次第
(1) 開会宣言
阿部副会長より第31回定時総
会の開会を宣言
(2) 会長挨拶 石黒会長より挨拶
(3) 議長就任 石黒会長が議長に
就任(協会会則第12条3項に
より)
(4) 成立宣言 合計210社(出
席83社+委任状127社)の
出席を確認
(5) 議事録署名人の選任
石坂建設(株)(関西支部)
石坂秀幸氏を選任

- (6) 議案審議
第1号議案 令和6年度事業報
告について
第2号議案 令和6年度収支報
告および監査報告について
第3号議案 令和7年度事業計
画(案)について
第4号議案 令和7年度収支予
算(案)について
(7) 閉会宣言
栗本副会長より閉会宣言
- すべての議案は、全会一致で可決
されました。

◆ 私たちを取り巻く環境は近年大き
く変動していますが、建設業界の働
き方についても2024年より大
きく変わってきました。時間外労働
の上限が厳しく制限され、時間外労
働にかかる賃金の割増率が引き上げ
られました。これに伴い、建設業界
は大きな影響を受け始めています。
過去を見ますと、就業者数は
1997年の685万人をピークに
その後はゆるやかに減少の一途を
たどり、2020年は約28%減の
492万人(平均)で、人手不足が

大きな課題となっています。少子高
齢化による労働者人口の減少は解決
の見込みがなく、限られた人数で今
抱える問題や課題に取り組みざるを
得ない状況にあります。2026年
は全人口の約30%が高齢者(65歳以
上)になると予測され、次世代の担
い手、後継者づくりが大きな課題と
なっています。

下水道事業に関しては、標準耐用
年数である50年を経過した管渠は現
在約3万km(総延長の約7%)ですが、
20年後にはそれが約20万km(約40%)
となり、下水道管渠の老朽化が急速
に増加していく状況です。私たちの
役割として、市民が安心して安全に生
活できるよう、速やかに下水道管路
の修繕改築に取り組んでいかなけれ
ばならないと感じております。

当協会にかかる2024年度の施
工延長距離が、昨年度より100km
超を増加する見込みです。会員皆様
のお力の賜物と感謝いたします。引
き続きよろしく願っています。
また協会員数は400社を超える組
織となっています。

最後に、オールライナー協会が会
員皆様にとって頼られる組織である
とともに、相互協力ができる組織を
目指し、取り組んでいく所存です。
皆様のますますのご活躍を心よりご
祈念申し上げます。

会長挨拶

オールライナー協会 会長 石黒 望



会員の皆様におかれましては、日々ご清栄のこととお喜び申しあげます。

また、日頃よりオールライナー協会の事業に深いご理解とご協力を賜りますこと、心より感謝申しあげます。

持続可能な社会を築く

さて、オールライナー協会は、管更生工法を研究・普及することを目的とし、持続可能な社会を築くために、インフラの維持・保全に貢献することを使命としています。

現在、日本の下水道管路は、供用年月の経過や過酷な条件下での使用

により、劣化や損傷が進んでいます。こうした管路施設の脆弱化といった問題を解決するためには、効率的かつ経済的な工法を開発し、普及させることが重要です。

当協会における最新技術は、2022年3月に建設技術審査証明書を取得したオールライナーHM工法です。このHM工法は、従来のオールライナー工法よりも「高強度」「薄肉化」「短時間施工」などの面で非常に優れているため、会員皆様に期待していただける工法であると考えています。

さらに、会員各社と材料メーカーとが一丸となつてさまざまな需要やニーズにも貢献できるように、新工法の開発にも取り組んで参ります。

着実な成長

施工実績に関しましては、施工延長が毎年100kmを超えるなど、工法協会として実力が付いてきていま

す。施工延長は累計で1800kmを突破するまでに成長しています。

また協会の会員数は400社を超える規模にまでなつてきています。

これもひとえに会員皆様のお力の賜物と感謝します。引き続きよろしくお願ひします。

さらに上位を目指す

協会では、普及PR活動として、「下水道展」および「メンテナンス・レジリエンス」等の展示会のほか、デモ施工として「下水道管路管理技術施工展」で工法PRを実施するなどしています。さまざまな場所で工法PRをさせていただき、オールライナー協会がさらに上位を目指していけるよう取組みを行っています。

支部活動も今後さらに活発化させて情報を共有し、新鮮な情報が届けられるように努めていきます。会員企業と連携し、業界の発展に取り組んでいきますので、会員皆様のご支援とご協力を引き続き、よろしくお願ひ申しあげます。

最後になりますが、会員皆様のさらなるご清栄とご繁栄をご祈念申しあげます。

令和7年度上期事業のご報告

令和7年度の事業につきまして会
員皆様のご理解とご協力をいただき
実施することができました。感謝申
しあげますとともに、その概要をご
報告します。

①本部総会

回数	開催日	開催場所	出席社数（人数）
第31回	令和7年5月29日	兵庫・ANAクラウンプラザホテル神戸	92社（153名）

〈出席支部詳細〉

支部	正会員数（特別会員）	出席社数（人数）	委任状数
東北・北海道	18社	6社（9名）	12社
関東	54社	16社（23名）	30社
中部	101社（1社）	40社（53名）	50社
関西	23社	10社（20名）	8社
中国・四国	24社	7社（13名）	17社
九州	19社	3社（9名）	10社
合計	240社（1社）	83社（127名）	127社
賛助、特別賛助	6社	2社（5名）	
記者、事務局	—	記者4社（3名）、事務局（2名）	—
総合計人数		137名	

②支部総会

支部名	開催日	開催場所
東北・北海道	令和7年4月24日	宮城・ホテルモントレ仙台
関東	令和7年4月22日	神奈川・ローズホテル横浜
中部	令和7年4月17日	愛知・ホテルルブラ王山
関西	令和7年4月15日	大阪・ホテルマイステイズ新大阪
中国・四国	令和7年5月15日	鳥取・米子市観光センター
九州	令和7年4月10日	熊本・熊本ホテルキャッスル

③理事会

回数	開催日	開催場所	出席者数
第1回	令和7年5月29日	兵庫・ANAクラウンプラザホテル神戸	12名
第2回	令和7年7月30日	大阪・新大阪丸ビル別館 貸会議室	9名
第1回役員会	令和7年10月23日	東京・エッサム神田	5名
第3回	令和7年11月19日	東京・エッサム神田	9名

④委員会

(1)総務・広報委員会

回数	開催日	開催場所	出席者数
第1回	令和7年10月29日	東京・エッサム神田	12名

(2)技術委員会

回数	開催日	開催場所	出席者数
第1回（全体）	令和7年5月20日	栃木・ライトキューブ宇都宮	21名
第2回（全体）	令和7年11月11日	宮城・スタンダード会議室 仙台	26名

(3)技術小委員会

〈1（相川）班〉

回数	開催日	開催場所	出席者数
第1回	令和7年7月29日	大阪・新大阪丸ビル 貸会議室	8名
第2回	令和7年10月30日	愛知・TKP名古屋栄	8名

〈2（岡田）班〉

回数	開催日	開催場所	出席者数
第1回	令和7年7月29日	大阪・新大阪丸ビル 貸会議室	8名
第2回	令和7年10月24日	石川・TKP金沢駅西口	10名



総会翌日の観光班は淡路市の野島断層保存館などを見学



本部総会

⑤研修会・講習会

(1)施工研修会（受講者計 202 名）

支部	開催日	開催場所	受講者数
東北・北海道	令和7年4月26日	秋田・豊興産(株)	9名
関東	令和7年6月14日	神奈川・管清工業(株)横浜技術センター	57名
中部	令和7年4月12日	愛知・小牧勤労センター	55名
	令和7年9月13日	愛知・小牧勤労センター	42名
関西	令和7年7月5日	大阪・管清工業(株)テクニカルヤード	23名
九州	令和7年6月6日	福岡・環境開発興業(株)	16名

(2)技術管理者〔新規取得〕講習会

開催頻度	開催日	開催場所	受講者数
年1回	令和7年9月24・25日	静岡・アクアインテック(株)	14名

【受講者内訳】 関東7名、中部4名、九州3名

(3)統括・技術、品確協講習会（受講者計 495 名）

支部	開催日	開催場所	受講者数
東北・北海道	令和7年7月12日	岩手・マリオス盛岡	15名
関東	令和7年8月23日	東京・ビジョンセンター京橋	89名
中部	令和7年6月7日	愛知・小牧勤労センター	125名
	令和7年6月13日	石川・ものづくり会館	35名
	令和7年10月4日	愛知・小牧勤労センター	69名
関西	令和7年9月27日	大阪・新大阪丸ビル別館 貸会議室	51名
中国・四国	令和7年7月26日	広島・管清工業(株)中国営業所	39名
九州	令和7年9月19日	福岡・TKP 博多駅前 貸会議室	72名

《資格者証取得・更新状況》

支部	受講者数	統括監理		技術管理	品確協【内面】技術研修				
		新規	更新	更新	二次試験	新規工法追加	HM追加	更新	特別講習
東北・北海道	17	3	7	5	0	0	11	10	2
関東	89	2	56	31	3	1	66	61	9
中部	229	22	134	34	19	10	126	24	5
関西	51	4	30	9	5	0	30	31	1
中国・四国	39	0	2	0	14	0	16	24	0
九州	72	9	31	4	8	2	40	27	3
合計	497	40	260	83	49	13	289	299	25

※品確協特別講習（有効期限が過ぎた方が、有効期限の更新を希望される方の試験）

(4)取付管口穿孔技士技能試験

支部	開催日	開催場所	受講者数
東北・北海道	令和7年10月18日	秋田・豊興産(株)	5名
関東	令和7年11月15日	東京・(株)三木田興業	7名

⑥展示会

(1)メンテナンス・レジリエンス東京 2025 〈(一社)日本能率協会〉

〈開催日〉7/23(水)～25(金) 3日間（ブース準備7/23）

〈会場〉東京ビッグサイト 東展示場

出展社数：456社 来場者数：32,392名

協会ブース小間数：2 来場者：348名

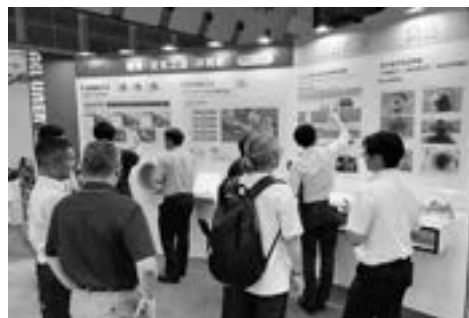
(2)下水道展'25 大阪 〈(公社)日本下水道協会〉

〈開催日〉7/30(火)～8/2(金) 4日間（重量物搬入7/27、ブース準備7/28）

〈会場〉インテックス大阪

出展社数：350社 来場者数：43,016名

協会ブース小間数：6 来場者：1,277名



メンテナンス・レジリエンス東京 2025

⑦公開デモ

(1)日本下水道事業団 研修会における工法説明会

この研修会は、(地共)日本下水道事業団の研修「管更生の設計と施工管理 各工法協会による管更生の解説」コース内のもの。管路更生にかかる工法説明およびデモ施工を実施し、下水道技術者の人材養成と第一線で活躍できる力を身につけてもらおうというもの。工法協会として協力をしています。

開催日	開催場所	デモ内容	施工クルー	受講者数 (正会員・賛助他)
令和7年9月18日	下水道事業団研修センター (埼玉県戸田市)	オールライナー Z	(株)青木清掃	35 名程

(2)下水協資器材研修 (日本下水道協会)

この研修会は、(公社)日本下水道協会が下水道事業者向けに主催。下水道用管路資器材を安心して使用いただけるよう、検査体制を整えた製造施設であると証明する認定工場で製造された管路資器材(認定資器材)を設計および施工技術向上に役立ててもらおうと、屋内研修でパワーポイントやDVD等で説明し、実物を用いて屋外研修でわかりやすく説明する研修会となっています。

開催日	開催場所	研修内容	施工クルー	受講者数 (正会員・賛助他)
令和7年10月2日	福井 (フェニックス・プラザ)	1. 屋内研修 (30 分)・工法説明 2. 屋外研修 (30 分)・デモ施工 (オールライナー Z)	サンデック(株)	26 名程
令和7年10月3日	大阪 (大阪科学技術センター)		(株)ケンセイ	131 名程
令和7年10月6日	浜松 (アクト浜松)		東海下水道整備(株)	25 名
令和7年10月7日	名古屋 (ポートメッセ名古屋)		(株)東海維持管理工業	128 名

(3)下水道管路管理技術施工展 2025 三重 [第 23 回] ((公社)日本下水道管路管理業協会)

来場者数 1,682 名 【協会ブース来場者 87 名：会員 34 名、役所 24 名、企業団体 29 名】

開催日	開催場所	デモ内容	施工クルー
令和7年10月16日	鈴鹿サーキット第7駐車場 (三重県鈴鹿市)	オールライナー Z 工法 サイドライナー工法	(株)朝日管清興業 管清工業(株)名古屋支店

・デモ施工 30 分×3 回、内覧会 (関係者への紹介 1 分)、一般向ガイドツアー 10 分

【要望事項】 ブース前のピーエスエルさんの削孔機の常時実演による削孔音、エア音が大きく、来場者の方にデモ説明が聞き取にくい状況で実施した (管路協アンケートへ反映し提出済)。

⑧支部広報事業

(1)陸自施設学校デモ施工と工法説明会 (関東支部と費用折半で実施)

【目的】 自衛隊施設は全国に 300 ヲ所以上あり、その施設内ではさまざまな排水管があることから、将来的に管内調査⇒管更生工事が実現できるよう、PR 活動を推進しています。その一部として関東圏の勝田、朝霞などの施設に出向き、工法の PR を進めています。

開催日	開催場所	デモ内容	施工クルー	来場者数
令和7年4月24日	陸上自衛隊朝霞駐屯地 (埼玉県朝霞市)	オールライナー Z 工法 サイドライナー工法 パートライナー工法	宇都宮文化センター(株)	61 名
		TV カメラ デモ	伊田テクノス(株)	

(2)陸自施設学校工法説明会 (関東支部)

開催日	開催場所	デモ内容	来場者数
令和7年11月12日	陸上自衛隊勝田駐屯地 (茨城県ひたちなか市)	本管更生 (オールライナー) 工法説明 (約 1 時間)	24 名



下水道管路管理技術施工展 2025 三重



下水道展 '25 大阪

トピックス

安全で効率的な調査を目指して
ドローンの活用事例

管清工業(株) 田中 宏治

脅威となってきた老朽管

全国の下水道管路は延長約50万kmに及び、老朽化の進行に対して維持管理のスピードが追いついていない状況が続いています。2025年1月、埼玉県八潮市で下水道管路破損に起因する道路陥没事故が発生し、死亡事故や約120万人への下水

道使用自粛要請など、社会に大きな影響を与えました。原因は硫化水素による下水道管の腐食とされ、インフラの安全性確保が急務となっています。

この事故を契機に、下水道管路の点検・調査が全国で加速しました。従来の調査手法では、高水位や流速が速い現場、硫化水素ガスの発生箇所など、作業

員が立ち入れない危険な条件下での調査は困難でした。こうした課題を解決する一つの手法として、ドローンを活用した調査手法が注目されています。

時間短縮と安全確保

球体ドローンを用いた調査では、大口径管路や屈曲部、暗所でも安定飛行が可能です(写真1)。

従来の走行式カメラでは対応できなかった土砂堆積や異物のある現場でも、ドローン(カメラ)をマンホールから投入して、非接触で高精度な映像を取得できます。これにより、調査時間

の短縮と作業員の安全確保を同時に実現できるようになりました。

さらに、満水箇所の調査においては水中ドローンを活用できます(写真12)。

従来は大規模な水替えや仮設工事が必要でしたが、水中ドローンを使用することで、沈砂池や雨水管渠、ポンプ場などの満水箇所を効率的に点検できます。

◆ 現状では、こうしたドローンによる調査はスクリーニング(二次調査)としての役割にとどまっており、詳細な健全度診断や構造評価には追加の調査や解析が不可欠です。しかし、将来的にはAI解析やソフトウェアの進化により、損傷判定や劣化度評価の精度が向上し、より高度な診断が可能になることが期待されています。

技術情報

ゴルフ場内雨水管の施工

オールライナー協会 技術委員 大木 洋輔

はじめに

この度、ゴルフ場内の雨水管を初めて施工しましたので、その施工事例をご紹介します。

1. 既設管状況

既設管はφ1200のコレット管です(写真1、2)。

2. 材料について

今回の施工では、自立管は要求されていませんでした。また、既設管が異形であるため、更生材は小さいほうのサイズに合わ



写真1 球体ドローン調査状況



写真2 水中ドローン調査状況

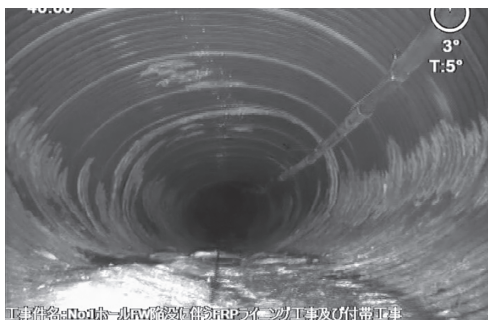


写真-1 既設管きょ状況 (φ 1200 部分)



写真-2 既設管きょ状況 (φ 800 部分)



写真-3 引き込み装置 (遠景)

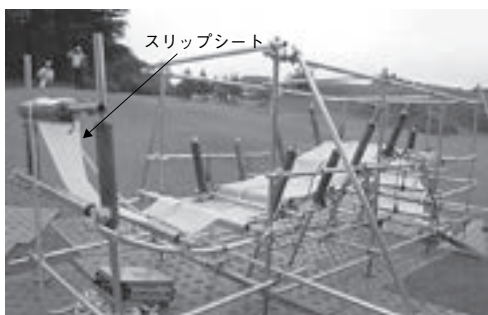


写真-4 引き込み装置 (骨格)

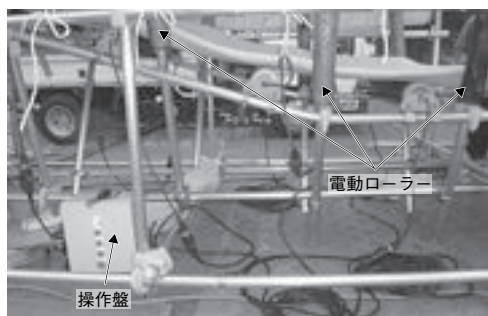


写真-5 引き込み装置 (拡大)

せ、施工後に間隙を充填剤で充填する方法を採用しました。

以上より、材料はオールライナーφ800、呼び厚さ10・0mmとしました。異形管施工では通常、全面プロテクトホース仕様になりますが、大口径かつロングスパンであるため、この仕様は採用できませんでした。

3. 施工方法について

施工にあたり、大口径かつロングスパンであるため、①通常の機材では性能不足、②引き込み作業が重労働——といった懸念がありました。そこで、これら懸念材料について対策を検討しました。

① 通常の機材では性能不足

オールライナーφ800・L 90mを蒸気施工する場合の必要コンプレッサー性能について検討しました。施工マニュアルでは250 HPのコンプレッサーが必要となっていますが、再検討した結果、オールライナーであれば200 HPで施工可能なことが判明しました。

② 引き込み作業が重労働

引き込み時の負担軽減等を目的に、施工業者吉村エンタープライズ(株)にて引き込み装置を試作しました(写真-3、5)。

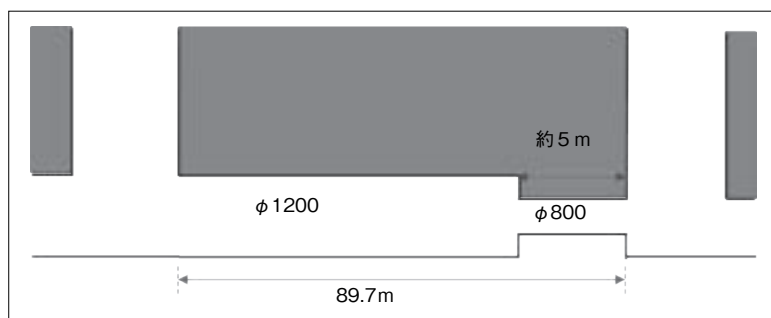


図-1 既設管状況

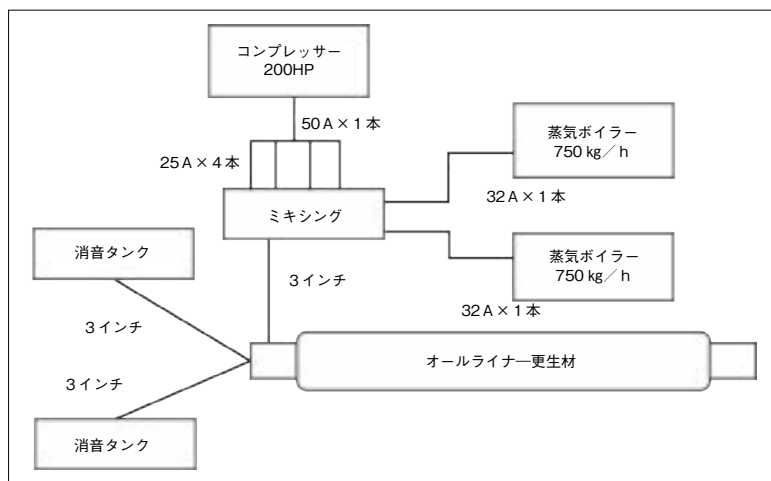


図-2 機材配置図



写真-8 引き込み状況（その3）



写真-7 引き込み状況（その2）



写真-6 引き込み状況（その1）

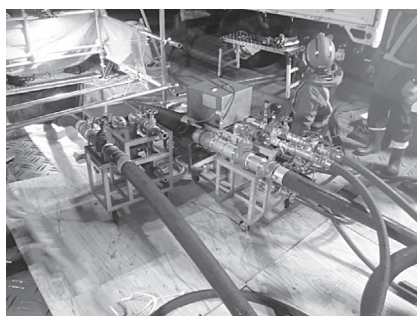


写真-11 施工状況（その2）



写真-10 施工状況（その1）



写真-9 引き込み状況（その4）



写真-14 出来形（既設管φ800部分）



写真-13 出来形（既設管φ1200部分）



写真-12 発進側施工状況

オールライナーH M工法について

オールライナー協会 技術委員 内海 克哉

1. はじめに

協会会員ならびに関係者の皆様には、日頃より多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今回は、オールライナーH M工法について改めて紹介します。

2. オールライナーH M工法

オールライナーH M工法は、2022年3月に（公財）日本下水道新技術機構建設技術審査証

セットした後は電動でマンホール内へ送り込むことができ、作業者の負担が軽減されました。また、従来よりも少ない人数で引き込み作業を行うことができました（写真16～19）。

施工状況、出来形状況を写真10～14に示します。

既設管φ800部分はコルゲート管状況の影響を受けまし

たが、無事施工することができました。



今回、引き込み装置の試作等、新たな市場で新たな取組みを行いました。今後もさらなる検討を重ね、オールライナーがより良い工法となるよう、技術向上に努めていく所存です。

明を取得しました。その際に作業担当した実証試験で感じた注意点を、当時のエピソードを交えて紹介します。

下水道機構の立会い等各種試験が実施されたのは2021年。新型コロナウイルスが蔓延し、マスク・手洗い・換気・3密回避等々、今まで経験したことのない、世の中が一変した時期でした。皆様も、暑い時期にマスク着用で作業を（変な日焼けになりながら）行い、事務所



① φ 300 施工性試験状況



② φ 600 施工性試験状況



③ φ 600 施工延長 (100 m) 確認

も時期を問わず窓を開け換気しながら、アクリル板の仕切りを立てて打合せをしていたのではないのでしょうか。

さて、試験では以下3項目について実施しました。

- ① 呼び径300の施工性…φ300、延長30mの試験実施。
- ② 呼び径600の施工性…φ600、延長14mの試験実施（温水施工）。
- ③ 施工延長の確認…φ600、延長100mの試験実施（蒸気施工）。

以上を数箇月かけて準備、施工、片付けを繰り返しながら進

めました。

HM工法施工の際に気付いた注意点を以下に紹介します。

- 基本的な、引込み、拡張、加熱、冷却、切断の一連の流れは、オールライナーZと一緒に。
- キャリブレーションホースが、オールライナーZより薄く、発進や到達治具取付けの際はビニールテープ等でステンレスバンドと当たり穴が開かないように十分注意が必要（ステンレスバンドの止め金具が拡張時でもキャリブレーションホースに当たらない

いように十分な養生を行う）。

- 到達部分の処理は、オールライナーZ施工時と同様な直縛りはしない。必ず、円柱状の治具等で端末を締めること。
- 浸入水トランクがある場合は、オールライナーZより10分養生時間を延ばし、養生＋30分とする。

以上が、施工時に注意した重要事項です。他は、ほとんどオールライナーZ工法の手順と一緒に、若干温度圧力関係が異なりますが、時間短縮等メリットが多いはずなので改めてマニユ

アルを確認してみてください。

3. 試験結果

試験結果は、今の審査証明を取得しているためすべて合格です。試験内容の詳細については建設技術審査証明（下水道技術）報告書をご確認ください。また、地上にマンホールを設置し、足場を組んで施工試験を行ったり、事前にヒューム管を半割にして組立て施工後に上部を外して仕上がりを確認したり、準備も非常に大変でアクアインテック(株)の山口様も苦労されていたのが思い出されます。また、

2024年3月には、認定工場のⅡ類を取得しており、さらに現場での活用場が広がりました。新規工法ということでも、まだまだ現場施工を繰り返して、施工面・材料面ともに改善する余地はあるかも知れません。しかしオールライナーZ

工法と比較すると施工時間は短縮されているはずなので、慣れるまでは、マニユアルをしっかりと確認しながら、注意点を良く守り施工し、もっと良くしていきたいように改善提案を皆で協力していけば、素晴らしい工法になっていくと信じています。また、施工面に関しては、必要に応じてアクアインテック(株)と協力して試験等行い改善していきますので、引き続きご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

4. おわりに

2021年以降毎年さまざまな出来事がありました。去年は埼玉県八潮市の陥没事故や有害ガスによる死亡事故等あまり良くないニュースが多い一年であつたと思います。今年は冬季オリンピックやWBC等注目目のスポーツ競技も行われるため、良いニュースが多いものと思います。オールライナー協会も明るい話題に包まれた一年になることを切に願っています。

支部だより

城下町弘前へ遊びにいこう

東北・北海道支部

青森県弘前市は、四季の移ろいと歴史文化が美しく調和する、東北随一の文化都市です。
「日本三大桜」の名所として知られる弘前公園では、春になると

2600本の桜が城跡を彩り、堀に浮かぶ花筏は圧巻の風景を生み出します。

また、夏は「弘前ねぶたまつり」の迫力ある武者絵灯籠、秋は紅葉とリンゴの収穫、冬は幻想的な雪景色と、年間を通して多彩な魅力を楽しめます。

城下町として栄えた弘前には、弘前城をはじめとする歴史的建造物や、明治・大正期の洋館群など、風情あふれる街並みが点在。カ



弘前ねぶた。ねぶたには扇型の「扇ねぶた」と人形の形をした「組ねぶた」の2種類があります



弘前城は津軽平野の中央部に築かれた平山城で、現存する天守を持つ全国12城のひとつです



リンゴ畑のなかに建つ醸造所「弘前シードル工房 kimori」のシードルは、味わい深い無濾過製法

フェ文化も盛んで、リンゴスイーツや地元食材を生かした料理を味わえるのも魅力です。
自然、文化、食、祭り、すべて

が凝縮された弘前市は、ゆったり歩きながらその奥深さを感じられる、訪れる人を魅了する観光都市です。

(豊産管理(株) 高谷俊一)

文化と自然が調和するまち 東京都国立市

関東支部

国立市は、一橋大学をはじめ多くの教育機関が集まる文教都市として知られる、落ち着いた雰囲気の小さな街です。面積は8・15km²と都内でも二番目に小さく、国分寺市と立川市の間に位置することから「この地から新たな国が立つ」との願いを込めて名付けられました。静かな佇まいながら、ロックスター忌野清志郎さんゆかりの地や、油そば・すた井といったソウルフード発祥の地としての歴史、



JR 中央線・国立駅駅前



街路灯



大学通り



谷保天満宮

さらに山口百恵さんが暮らす街としての一面もあり、多彩な文化が息づいています。

まちの起源は、南部に位置する谷保地区にさかのぼります。谷保地区はかつて湿地帯でありながら、古くから農業が

営まれてきた地域で、明治22年の町村制施行により谷保村が成立し、現在の国立市の礎が築かれました。その後、大正末期には箱根土地株式会社（プリンスホテルの前身）によって北部地域の開発が進められ、「理想の文教都市」を掲げた計画的な街づくりが本格的に始まりました。

まちの象徴・大学通りは旧駅舎から南へ伸びる並木道で、「新東

京百景」にも選ばれています。季節ごとの美しい景観に加え、喫茶店や書店が並ぶ文化的な街並み、パリのシャンゼリゼ通りと同型の街路灯や煉瓦調の歩道が独特の雰囲気を醸します。また、市内には忌野清志郎さんゆかりの「たまらん坂」や、東日本最古の天満宮とされる谷保天満宮など魅力的な名所も点在します。

文化と自然が調和する国立は、歩くほどに魅力が深まる街です。近くにお越しの際には、ぜひゆっくりと散策してみてください。

（管清工業㈱ 朝倉直揮）

「名古屋飛ばし」を打ち破る 愛知県の熱気

中部支部

近年、愛知県が従来の「名古屋飛ばし」のイメージを払拭し、熱気を帯びています。その要因を簡潔にまとめてみました。

1. 経済成長と購買力の強化

愛知県は、東京（関東圏）と大

阪（関西圏）の中間に位置し、若干軽視されがちでしたが、経済的な実力は非常に高いことが証明されています。

※ 全国を上回る成長率…2025年の愛知県の実質成長率はプラス2.1%と、全

グルメ情報

「うなちゃん」 鰻料理（串焼き、コース料理中心）

「まっちゃん」 もつ焼き（平日は男性のみ）

「サッポロラーメン国立本店」 スタ丼（発祥の店）

「三幸」 油そば（発祥の居酒屋）

現在
名古屋駅西側駅前広場

リニア中央新幹線開業時(イメージ)



駅前広場には、開放感を確保しつつ雨や日差しを避けられる動線を設けるなどの工夫が施される

※ 国平均のプラス1・0%見込みを大きく上回る予測です。
高い居住環境の魅力…元々給与水準が全国トップクラスで、通勤時間の短さや高い合

計特殊出生率が再認識され、「住みやすさ」と「購買力」が両立していることが、見逃せない魅力となっています。

2. 大規模な都市変貌とインフラ投資

従来の「名古屋飛ばし」の一因であった都市の魅力不足や、集客力の課題は、大規模な再開発※によって解消に向かっていきます。

※ 大規模再開発…名古屋駅（名古屋）周辺では、リニア中央新幹線開通を見据え、オフィス、ホテル、タワーマンションなどの複合開発が加速し、国際的なビジネス・交流拠点へと変貌を遂げつつあります。また栄エリアの中日ビルなどの再開発が完了

し、新たな商業・文化的な集客拠点が生まれています。

※ 未来への先行投資…リニア中央新幹線関連事業や2026年10月開催の「名古屋アジア・アジアパラ競技大会」に向けたインフラ整備は、将来的なポテンシャルを大きく高めると考えられます。

愛知県はこれらの要因が複合的に作用し、「飛ばせない都市」として進化しています。皆様もぜひ、愛知（中部圏）にお立ち寄りください。

（管清工業㈱ 小山田正男）

九州の成長を支える三つの動き

九州支部

1. 半導体産業の拡大

九州では近年、産業・観光・農業の各分野で前向きな変化が続いています。本稿では、全国的に関心の高い三つのテーマ「半導体産業」「観光需要の回復」「農産品輸出の拡大」について、九州で進む最新の動きをまとめます。

熊本県菊陽町（きくよう）で建設が進むTSMC工場は、九州の産業構造に大きな影響を与えています。工場稼働を見据え、関連する部材メーカーや装置企業の進出が相次ぎ、

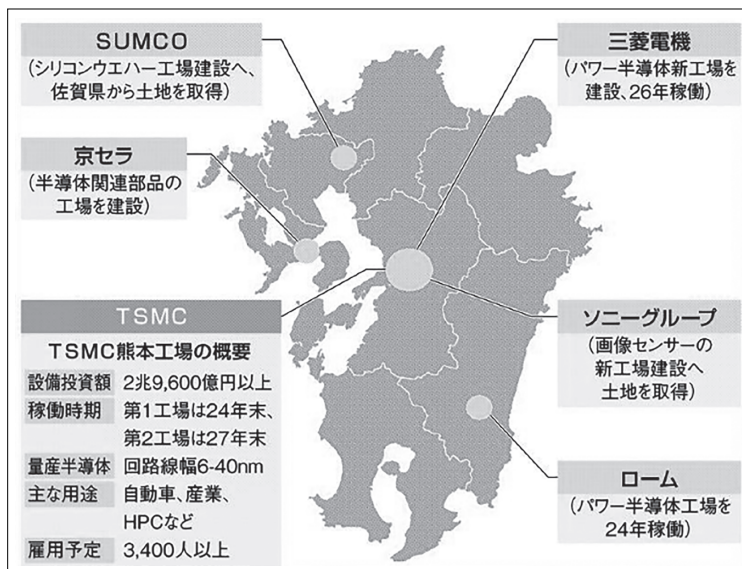
2. 観光需要の回復と インバウンドの拡大

コロナ禍からの回復が進み、ア

ど地域産業にもプラスの影響が広

九州全体で半導体関連企業の集積が加速しています。これにより新たな雇用が生まれ、地域投資も拡大しています。また、大学・自治体・企業が連携した技術者育成の取組みが進み、長期的な産業基盤の強化につながっています。

アジア圏を中心とした訪日客が九州へ再び戻りつつあります。福岡空港の国際線や各港湾のクルーズ船受入れが増加し、別府温泉や黒川温泉、長崎の世界遺産、鹿児島・熊本などの自然観光など、主要観光地が活況を取り戻しています。特に個人旅行（FIT）が増えており、食文化や体験型観光を楽しむスタイルが定着。宿泊、飲食、交通など地域産業にもプラスの影響が広



半導体関連の設備投資が相次ぐ九州地区

が
つ
て
い
ま
す。

3. 農産品輸出の伸長

イチゴ、柑橘、牛肉、茶などの九州産農産物が海外で高く評価され、輸出量が拡大しています。品質保持技術の向上、迅速な輸送体制の整備、自治体や国による支援策などが後押しとなり、アジア市場を中心に販路が広がっています。安全性と高品質への信頼は九州ブランドの強みであり、生産者の意欲向上にもつながっています。

まとめ

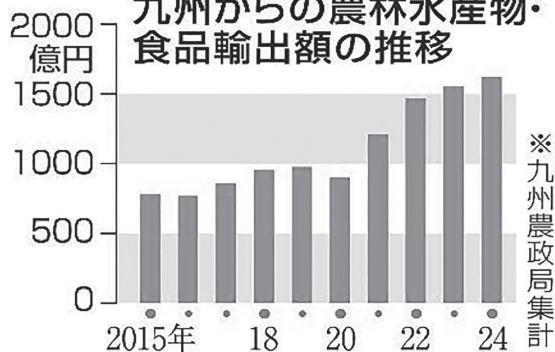
半導体産業の発展、観光需要の

回復、農産品輸出の拡大という三つの動きは、九州がこれからさらに飛躍していくための大きな力となっています。新しい産業が育ち、地域の魅力が再評価され、九州ブランドの価値が国内外で高まることで、地域には活気と可能性が広がっています。これらの取組みが相互に良い影響を与え合うことで、九州はこれまで以上に暮らしやすく、働きやすく、訪れたい地域へと進化していくでしょう。今後成長の循環が続き、九州全体がさ

らに輝く未来へ向かっていくことが期待されます。

（林宗土木 樺田雄一）

九州からの農林水産物・食品輸出額の推移



過去最高を記録した九州7県の農水産物輸出



ソニーグループの新工場



福岡市・中州クルーズ



別府温泉

会員名簿

〔 〕は出先機関／五十音順（各支部毎）

令和7年10月1日現在

関西 (26)

(有) ミ エ コ ロ ジ ー
(株) ミズホエンジニアリング
(株) 南 山 建 設
(株) ミ ヤ マ サ 建 設
村 上 建 設 工 業 (株)
名 岐 ワ ー ク ス (株)
(株) 名 南 技 建
藪 建 設 (株)
(株) ヤ マ ケ ン
山 城 土 木 (株)
(株) 吉 光 組
(株) L D S

アクアソリューション(株)
新 井 建 設 (株)
石 坂 建 設 (株)
(株) 交 野 興 業
(株) 川 崎 組
(株) 関西パイプライン
〔管 清 工 業 (株)〕
京環メンテナンス(株)
京阪神道路サービス(株)
(株) ケ ン セ イ
住 本 建 設 (株)
大 東 衛 生 (株)
大 明 道 路 管 理 (株)
武 田 興 業 (株)
(株) 司 興 業
(株) 永 川 組 建 設
(株) ナ ガ タ キ
(株) 西 山 組
〔日本ハウエイ・サービス(株)〕
(株) 平 野 組
藤 澤 産 業 (株)
益 田 工 業 (有)
的 場 商 事 (株)
ミ ザ ッ ク (株)
最 上 建 設 (株)
吉 野 建 設 (株)

中国・四国 (27)

(株) ア ー ス ウ イ ン グ
(株) 愛 亀
朝 日 環 境 衛 生 (有)
(株) 綾 野 工 務 店
(有) イ チ ケ ン ス
(株) エ ム シ ス
(株) 環 境 開 発 公 社
関 西 防 水 工 業 (株)
〔管 清 工 業 (株)〕
ク リ ー ン (株)
(株) サ カ
(有) 清 希 建 設
(株) 妹 尾 産 業
(株) ダ イ モ ン
(株) 中 国 特 殊
(株) 友 鉄 ラ ン
(有) 中 村 興 業

五 曠 建 設 (株)
(株) 林 五 大
小 林 建 設 (株)
金 剛 建 設 (株)
(株) 齊 藤 組
(株) サ ク ラ ダ
サ ン デ ッ ク (株)
(株) 和 興 業
(株) 篠 川 組
西 遠 建 設 (株)
セ イ コ ー 建 設 (有)
大 幸 住 宅 (株)
大 伸 建 設 (株)
大 道 建 設 工 業 (株)
大 和 建 設 (株)
(株) 竹 居 組
(株) タ ケ コ シ
(株) 竹 松 組
(株) 田 中 商 会
中 採 工 事 (株)
中 南 勢 清 掃 (有)
中 日 コ プ ロ (株)
(株) 東海維持管理工業
東 海 下 水 道 整 備 (株)
東 海 建 設 (株)
東 海 興 業 (株)
(株) 東海ビューテック
東 三 建 設 (株)
東 邦 ガ ス テ ク ノ
ト エ イ (株)
豊 橋 建 設 工 業 (株)
(株) ナ ガ イ シ
(株) ナ カ ガ ワ ン
(株) ナ カ ケ ン
(資) 中 島 工 務 店
中 村 建 設 (株)
(株) 中 村 正
(株) 中 村 土 木 建 設
(株) 成 田 組
〔日本ハウエイ・サービス(株)〕
(株) 二 友 組
(株) ノ ゼ キ
(株) 波 多 野 組
(株) 林 土 木
(株) ビ ー メ ッ ク
東 建 設 (株)
(有) 久 田 工 事
日 立 テ ク ノ ス (株)
(株) 美 南 組
(株) ヒ ュ ー テ ッ ク
(株) 平 井 組
平 富 井 工 業 (株)
(株) 土 建 設
(株) 芙蓉施設センター
(株) 北 條 組
豊 立 工 業 (株)
北 興 建 設 (株)
(株) 松 本 組
(株) 丸 龜 工 務
丸 善 建 設 (株)

スピーダーレンタル(株)
隅 田 川 工 業 (株)
(株) 大 門
(株) 伊 達 建 設
(株) 調 布 清 掃
動 栄 工 業 (株)
(株) 東 京 三 田 組
都 市 管 理 サ ー ビ ス (株)
新 潟 特 殊 企 業 (株)
(株) 二 幸 管 理
日本ハウエイ・サービス(株)
〔 (株) 二 友 組 〕
箱 根 建 設 (株)
(株) 英 組
(株) 光 商 会
平 山 建 設 (株)
扶 桑 建 設 (株)
(株) 平 誠 工 業
邦 栄 メ ン テ ナ ン ス (株)
〔 松 浦 商 事 (株) 〕
(株) 丸 あ 組
丸 新 土 木 (株)
(株) 三 木 田 興 業
(株) メ ー シ ッ ク
(株) ヤ マ ソ ウ
吉 村 エ ン タ ー プ ラ イ ズ (株)
(株) り ん か ん 建 設

中部 (103)

(株) ア ー ス ワ ー ク
青 山 建 設 (株)
(株) 朝 日 管 清 興 業
朝 日 土 木 興 業 (株)
(株) 新 井 組
(株) イ ー ス タ ン
市 川 土 木 (株)
市 原 産 業 (株)
(株) I M A Z
(株) 岩 松 建 設
(株) エ イ テ ッ ク
(株) 大 平 組
(株) 岡 崎 工 業
(有) オ ワ リ
(株) 尾張クリーンパイプ
角 地 建 設 (株)
勝 間 田 建 設 (株)
加 藤 建 設 (株)
(株) 加 藤 建 設
金 沢 市 清 掃 (株)
(株) 川 口 組
〔管 清 工 業 (株)〕
〔 (株) カ ン ツ ー ル 〕
北 河 建 設 興 業 (株)
木 下 工 業 (株)
(株) 共 栄 土 建
日 下 建 設 (株)
(株) 神 稻 建 設
(株) ク リ オ
(有) 肥 田 建 設
五 光 建 設 (株)

正 会 員

東北・北海道 (20)

(株) 石 黒 建 設 工 業
(株) 伊 藤 組
(株) 英 明 工 務 店
(株) 亀 田 清 掃
〔 管 清 工 業 (株) 〕
環 清 工 業 (株)
(株) 北日本ウエスタン商事
協 業 組 合 ケ ン ナ ン
(株) 公 清 企 業
タ ン ノ 清 掃 興 業 (株)
中 央 土 建 (株)
(株) 東 部 清 掃
東 北 環 境 開 発 (株)
仲 野 衛 生 管 工 (株)
〔日本ハウエイ・サービス(株)〕
早 川 建 設 工 業 (株)
豊 産 管 理 (株)
松 浦 商 事 (株)
(株) 三 浦 土 建
豊 興 産 (株)

関東 (61)

アイレック技建(株)
青 木 清 掃 (株)
浅 井 建 設 (株)
(株) 池 田 建 設
伊 田 テ ク ノ ス (株)
市 川 建 設 (株)
(株) 稲 元 興 業
(株) 入 江 組
宇 都 宮 土 建 工 業 (株)
宇 都 宮 文 化 セ ン タ ー (株)
大 蔵 工 業 (株)
(株) オ ー ケ ー サ ー ビ ス
(株) 回 王 建 興
〔 (株) 加 藤 建 設 〕
加 藤 商 事 (株)
川 上 建 設 (株)
管 清 工 業 (株)
(株) 関 東 特 殊 防 水
(株) 菊 地 組
(株) 協 栄 エ ン タ ー プ ラ イ ズ
共 栄 建 設 (株)
(株) 協 同 清 美
(株) 清 川 産 業
ク リ ー ン 総 業 (株)
〔 (株) ケ ン セ イ 〕
(株) 現 代 建 設
(株) コ イ デ
(株) 国 土 開 発 工 業
(株) 小 島 組
小 柳 産 業 (株)
小 三 喜 技 研 工 業 (株)
山 光 建 設 (株)
(株) 三 和 工 業
(株) 水 美 社

若 松 建 設 (株)

九州 (50)

(有) ア ク ロ ス
(有) ア ド ヴ ァ ン
飯 盛 運 輸 (株)
(有) 井 手 尾 重 機
(有) 伊 東 工 業
(有) 岩 藤 清 掃
(有) 大 久 保 商 店
(有) 小 川 内 重 機
折 田 建 設 工 業 (株)
(株) 金 子 組
(株) 金 村 組
川 口 工 業 (株)
(株) 技 建 工 業
(株) 九 管 通
(株) 九 コ ン

九州清掃事業センター(株)
共栄環境開発(株) 熊本支店
(有) 協 和 清 掃 企 業
(株) クサノエンジニアリングシステム
(有) ケ イ ト 建 設
(有) 広 陽
古 賀 建 設 (株)
(株) さ く ら 工 業
(有) 眞 弘 建 設
(有) 新 生 建 設
(有) 進 和 建 設
(有) セ イ ブ 管 工 土 木
(有) 正 和 組
タ イ ヘ イ (株)
(有) 田 中 建 設
(株) 中央環境管理センター
(有) 寺 本 工 務 店
(株) 富 倉
(株) 那 須 商 会
西 日 本 産 業 (有)
貫 建 設 (株)
野 田 建 設 (株)
林 土 木 工 業 (株)
樋 口 産 業 (株)
福 重 イ ン ダ ス ト リ ー (株)
(株) 福 子 建 設
(株) 福 津 建 設
(有) 藤 本 商 事
(株) 古 山 土 木
(株) 松 岡 清 掃 公 社
(株) 丸 福 建 設
(株) 峯 樹 木 業
(株) 吉 村 興 業
(株) ワ イ ズ 西 日 本

祥 正 建 設 (株)
星 建 設 (株)
(株) 鈴 木 組
(株) 草 溪 建 設
副 島 建 設 工 業 (株)
(株) 大 金 建 設
(株) 中 部 工 業
(有) テ ッ ク 三 光 建 設
鳥 井 建 設 (株)
(株) 仲 野 商 店
阪 神 環 境 事 業 (株)
(株) 福 田 組
藤 秀 建 設 (株)
(株) 文 岩 組
(株) 宮 内 組
(株) 宮 本 商 店
森 本 工 業 (株)

中国・四国 (41)

(株) 愛 賢
(株) ア ル フ
(株) 一 瓢 組
(株) 伊 予 建 設
(株) ウォーターラム
(有) S R K
(株) 大 竹 山 工 業 所
岡 田 石 材 (株)
尾 上 建 設 (株)
(有) 金 村 建 設
河 井 建 設 工 業 (株)
(株) 草 野 組
(株) 倉 橋 工 務 店
広 成 工 業 (株)
三 協 開 発 (株)
(株) 繁 山 興 業
(株) 昌 栄 工 業
(有) 新 ま る セ
(有) ダ イ テ ッ ク
大 和 建 設 (株)
(有) 拓 伸 工 事
(株) 寺 岡 建 設
(株) テ リ ト リ ー 開 発
(株) ト ウ ケ ン
(株) 原 田 建 設
(株) ヒ ロ ク ニ 建 設
(株) 伏 光 組
フ タ バ 建 設 (株)
プ ラ ス 1 技 建 (株)
(株) 前 田 組
(株) 真 幸 土 木
(株) 松 原 組
(株) ま る し ん 産 業
(有) ま る な か 建 設
(有) 三 島 工 業 所
三 谷 建 設 (株)
三 宮 田 建 設 (株)
(有) 山 大 建 設

(株) 相 模 土 建
(株) ダ イ ト ウ ア
高 橋 建 設 工 業 (株)
(株) 田 村 工 業 所
(株) テ ッ ク ア サ ヒ
(株) T O Y O K E N
(株) 直 興 業
(株) 日 建 緑 地
(株) 日 東 建 設
(株) 庭 野 建 設
(株) 前 原 土 建
松 浦 建 設 (株)
(有) 丸 要 建 設
(有) 三 浦 組
(株) ミヤビアーキテクト

中部 (28)

(株) 井 上 組
(株) 岡 田 組
(株) 落 合 組
(株) カ ネ ト モ
(株) カ ネ セ モ
北 上 建 設 (株)
倉 橋 建 設 (株)
(株) ご ん だ
(有) サ ン ケ イ 開 発
(株) 大 栄 産 業
太 啓 建 設 (株)
(株) 野 武 工 業
辰 野 建 設 (株)
(株) 田 村 組
(株) T M C
道 家 工 業 (株)
(株) 東 部 建 設
(株) ト ス マ ク ・ ア
(有) 豊 田 衛 生
(株) 日 拓 店
(株) 林 工 務 店
(株) 久 盛 建 設 工
松 井 建 拓 (株)
丸 重 産 業 (株)
三 河 建 設 工 業
水 谷 建 設 (株)
(株) 峯 村 組
(有) 有 起

関西 (31)

朝 山 設 備 工 業 (株)
(株) 石 川 工 業
(株) 今 木 組
上 野 建 設 工 業 (株)
(株) 英 光 産 業
(株) S I 工 業
(株) エ ス デ イ 工 業
(株) 大 城 組
(株) 河 合 清 掃 社
協 同 建 設 (株)
ケ ー エ ス 技 建 (株)
(株) ケ ー ズ コ ン ト ラ ク ト
(株) 広 和

南 部 開 発 (株)
(株) フ マ イ ク リ ー ン サ ー ビ ス
(株) フ レ イ ン
(有) マ ッ ジ ョ ウ
丸 伸 企 業 (株)
(株) ミ テ ッ ク
(株) 三 次 衛 生 工 業 社
(株) ヤ ク シ
力 山 綜 合 建 設 (株)

九州支部 (20)

(株) 石 橋 高 組
(株) 梶 組
環 境 開 発 興 業 (株)
(有) 環 境 整 備 セ ン タ ー
(株) 環 境 未 来 恒 産
[管 清 工 業 (株)]
(株) 北 九 州 環 境 美 化
(有) 九 興 建 設 工 業
(株) 九 州 事 業 セ ン タ ー
杉 本 組
西 部 建 設 工 業 (株)
(株) 武 末 建 設 工 業
(有) 天 山 環 境 開 発 工 業
(株) ナ イ ン ス テ ィ ッ
(株) 長 崎 環 境 美 化
野 方 菱 光 (株)
林 宗 土 木 (株)
(株) 福 重 産 業
(株) ホ ク エ イ
(有) 細 川 工 業

特別会員

ア ク ア イ ン テ ッ ク (株)

賛助会員

(株) カ ン ツ ー ル
(株) 南 陽
(株) H O K U R Y O

特別賛助会員

北 野 建 設 (株)
T S U C H I Y A (株)
日 之 出 水 道 機 器 (株)

地区会員

関東 (26)

(株) 朝 倉 組
ア ヅ マ 建 設 (株)
(株) 安 西 建 設
上 田 建 設 (株)
(株) エ ス ケ ー シ ー 技 術
(有) 奥 津 造 園
(株) 尾 崎 建 設
(株) 加 藤 組
(株) 菊 正 建 設
久 保 建 設 (有)
(有) 黒 崎 施 設 管 理 サ ー ビ ス